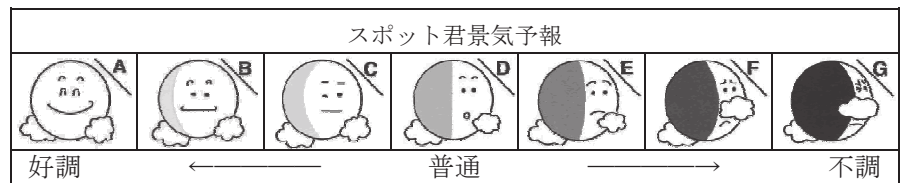


## 2. 目黒区内中小企業の景況（平成 28 年 7～9 月期）

### （1）今期の特徴点



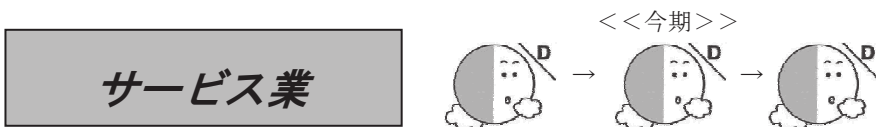
業況は△16.7で前期比3.9ポイント増と水面下ながらやや改善した。売上額は△15.0で0.1ポイント減でほぼ横ばい、収益は△11.0で5.7ポイント増とかなり持ち直した。資金繰りは△7.4で4.0ポイント増とやや厳しさが緩和した。来期の業況は5.3ポイント増の△11.4と幾分持ち直す見込み。



業況は15.0ポイント増の6.2と大幅にプラスに転じた。売上額は2.7ポイント増の△3.1とわずかに持ち直した。収益は△8.4で0.6ポイント増とほぼ横ばいとなった。資金繰りは4.3で16.8ポイント増と大幅に容易になった。来期の業況は、5.7ポイント減の0.5と増勢がかなり後退する見込み。



今期の業況は△25.5で5.5ポイント減とかなり悪化幅が拡大し、売上額も△14.7で2.6ポイント減とわずかに低迷した。収益は△21.3で3.8ポイント減とやや減少幅が拡大した。資金繰りは△16.6で5.9ポイント減とかなり窮屈感が強まった。来期の業況は、9.3ポイント増の△16.2と水面下ながら大きく改善する見通し。



今期の業況は、△13.7で0.2ポイント増と変化なく、売上額は9.6ポイント増の△4.7と大きく改善した。収益は5.6ポイント増の△13.3と大きく持ち直した。資金繰りは、△4.5で11.4ポイント増と大きく改善した。来期の業況は、5.8ポイント増の△7.9と水面下ながらかなり改善する見込み。



建設業の主要指標をみると、業況は△5.9で16.3ポイント減と大きく悪化に転じた。売上額は△9.8で9.8ポイント減と大幅に減少を強め、収益は△2.1で4.3ポイント増と、やや改善した。資金繰りは、△12.9で10.4ポイント減と苦しさが強まった。来期の業況は、11.0ポイント増の5.1と大きく改善する見通し。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

